

# 2024年度 ひかりくみ クラスだより

教賛教会幼稚園園長 有岡史季

5月29日 発行 執筆者 国林倫介

晴れ渡った空に新緑の木々など、爽やかな風が「パ」地よく感じられる季節となりました。新年康や「怡利、早くも2ヶ月か経とうとしています。

毎日の子どもは遊びの時間には、元気で走りながら遊びを見て、じっくりと遊び込んだりや「好きな物、環境を整え、計画しています。輪本をじっくり読んだ日もあり、「魔術を使ったり作遊びやレゴブロック・ジンガ」など、午後を多くの遊びに集中したり、

身体を沢山動かして憩いながらしたたりする日もあります。「パ」と身体を開放して子どもは遊びをじっくりと楽しむ中で「思いやり」「情にされ、その後ハラハラ活動にも集中して取り組んでいます」です。幼稚園クリーチャーとして大きく伸びやかとする子どもたち一人ひとりの成長を見逃さないよう、丁寧に見ています。

## マーチング♪

今年のマーチングの曲は「ぼくらのスクール」です!!子どもたち一人ひとりの輝く笑顔が、もうひとつ輝いています。おでん、といつ角笛を入れ、選曲しました。年長児にはアソシオはことのひとつのマーチング。演奏する曲が決まり、新しい動きに取り組んだりするなど、5月に入りから子どもたちに積極的に取り組むようになりました。マーチングをすることで最も大切には、「みんなの力」と身体をひとつにすること。でも!互いの存在を大切に想い合い、アラスという一作感覚を味わえたり、子どもたちと一緒に向かい、割り切っていきたいと思います。

## ひかり塾

今年も東野原の苗を植えたところには、「アラス」話し合った結果、「アラス」として育てることになりました。(アラスはこの組さんと一緒に育てます!)当活動に新しい流れになり、水やりも喜び、ぱりに想い、成長の喜びをいかで伝えるかから大切にが世話をしています。

## 遊びの中の学びの芽:

魔術遊びが大好きで、様子は大きめ、形の大きい箱を組合せ、見立て遊びを楽しんでいたA組。箱を組合せてしまい、それからさらに新規性を電車が完成しました。すかとくの様子を隣で見ていたB組が「電車が走る線路」を手で描いて、角笛で吹きました。B組の「線路を作りた」という声から、仮装が集まり、先日教保館に出かけて時のことを思い出しましたが、みんなで「おみを出し合いました。」「線路は画用紙で作りた」「線路を作った」「かどは線路とトンネルも出来たよ!」など、樂しいアドリブが次々と飛び出しました。その後は子どもたち同士で協力して、巨大なハート組線路が完成しました。また、この組の電車が「大好きな車両を拓け、車両部屋の大流を楽しむ」とありました。

今回のエピソードでは、仲間同士、量ではなく個性と表現、社会生活との関わり、思青力の芽生え、言葉による伝え合いが「当たり前」です。みんなで力を合わせ、ひとつ目の目標に向かって話し合いを進める中から「年長児としての確かな成長を感じました! 次回もがんばります! ひかり組線路を作りた!

**会場** 最近の会場では、食卓の持ち方や食事のマナーを見直しはじめました。嬉しい時間もあれば、いい時も。時と機に合わせて食べる事、食事の取扱い等で、自分で見て食べる事など教師が見本となり伝えていることで、一人ひとりが意識づけられ、見られた所で育てられました。正しいマナーを身に付けて、良い食べ方や喜びを育んでいこう! えんときなりと見てます!